

各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

## 2024年 12月度 売上速報

## ■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	113.4
阪神梅田本店	109.3
支店計	101.7
全店計	108.7

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

## ○ 全店の概況

- ・ 気温の低下に伴い、11月まで動きが鈍かった重衣料を中心とする秋冬ファッションが高稼働。国内客の消費マインドも高く、インバウンドも含めて来店客数も順調に推移した。また、長期連休となる年末年始に向けた商戦も、各店において活況を見せた。中でも、阪急・阪神両本店の月間の売上高は前年に対し約1割増と全体を牽引。
- ・ 免税売上高は、前年に対して約3割増、阪急本店も約3割増と引き続き好調で、前月の売上も上回った。同月の売上高では19ヶ月連続で過去最高を更新。
- ・ お歳暮ギフトについては、節約志向の影響もあり全体として前年の売上実績を下回った。クリスマスケーキ(事前予約)についても、価格の上昇に加えてクリスマス当日と前日が平日ということもあり、前年の売上実績を下回った。一方、おせち料理の受注については前年並みの売上結果だった。

## ○ 阪急本店の概況

- ・ 12ヶ月連続で、同月の売上高において過去最高を更新。
- ・ 主力のコートやブーツなど秋冬ファッションが牽引し、婦人・紳士ファッションの売上高はそれぞれ前年に対し2ケタ増と好調な結果。中でも、婦人衣料、アクセサリ、国際ファッションが好調。また、化粧品の売上高が前年に対して約2割増、宝飾品は約4割増とそれぞれ大きな伸びを示した。
- ・ クリスマスギフトについては、若い世代を中心にカップルで来店し、一緒にプレゼントを選ぶスタイルが定着。クリスマス期間(20～25日)も多くのお客様で賑わいを見せ、同期間の売上は前年を大きく上回った。特に直近の土曜日となる21日は、前年のピークであった土日(23日、24日)の各売上を上回った。
- ・ 100万円以上の高額品の売上高は、前年の約4割増と高伸。

## ※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2023年度				2024年度								
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
阪急本店	115.1	120.2	132.0	130.0	129.6	146.1	137.7	120.3	115.5	113.1	108.1	113.8	113.4
阪神梅田本店	111.9	117.6	119.1	107.0	105.8	108.8	109.2	105.3	109.5	81.5	106.9	79.2	109.3
支店計	108.5	110.0	115.5	111.4	110.4	112.0	116.7	107.5	105.3	105.1	100.5	103.8	101.7
全店計	112.3	116.0	124.5	119.9	119.9	129.1	127.1	114.1	111.1	105.8	105.2	105.8	108.7

## ■ 食品事業

イズミヤ・阪急オアシス	売上高前年比(%)
全店計	101.5

関西スーパーマーケット	売上高前年比(%)
全店計	103.3

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

<本件に関するお問い合わせ先>  
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL:06-6367-3181